

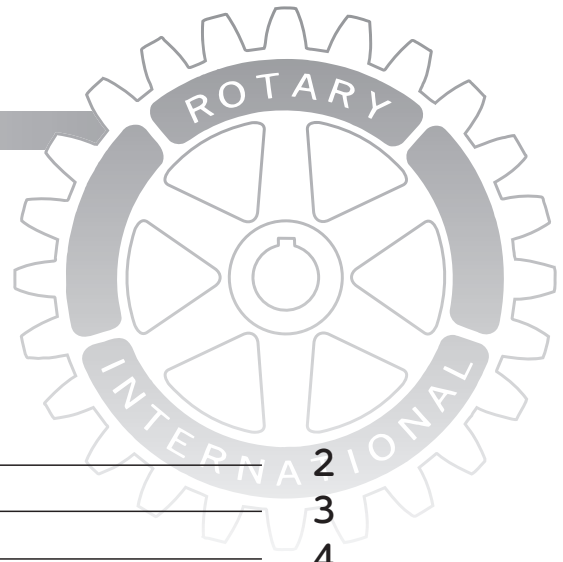


湯河原ロータリークラブ 創立55周年記念誌



第2,669回 創立55周年記念例会
於：ニューウェルシティ湯河原

平成29年3月24日(金)



目 次

ロータリーの綱領	2
R.I.認承状・バナー	3
プログラム・記念事業	4
来賓・招待者御芳名	6
記念式典スナップ	8
ご挨拶・来賓祝辞	
湯河原R.C.会長	望 月 博 文 10
55周年記念式典実行委員長	神 谷 一 博 11
真鶴町長	宇 賀 一 章 12
湯河原町議会議長	土 屋 誠 一 13
ガバナー	佐 野 英 之 14
ガバナー補佐	高 田 喜 好 15
小田原R.C.会長	木 村 隆 也 16
立山R.C.会長	梅 沢 良 昭 17
特別寄稿 パストガバナー	生 沼 富 治 18
パストガバナー	山 地 裕 昭 19
米山奨学生	Josephine Yao 20
会長時の思い出	
2012～13年度	山 本 明 峰 21
2013～14年度	渡 邊 久 恭 22
2014～15年度	神 谷 一 博 23
2015～16年度	佐 藤 泰 文 24
55周年記念式典大会組織図	25
創立経緯	26
55年記憶	28
永年在籍表彰	36
歴代役員	37
会員紹介	38
物故会員	39
クラブの概要	40
編集後記	42



ロータリーの綱領

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹育成することにある;

第1 奉仕の機会として知り合いを広めること;

第2 事業および専門職務の道徳的水準を高めること;あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること;そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するためにその業務を品位あらしめること;

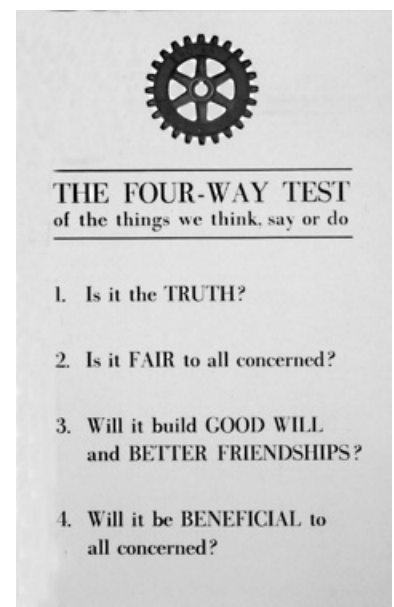
第3 ロータリアンすべてがその個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること;

第4 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって国際間の理解と親善と平和を推進すること。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか





R.I.認承状

湯河原ロータリー・クラブが、国際ロータリーの定款並に細則によって正当に組織され、その役員並に会員を承認したことを証します。この承認はこの認承状の受領によって証され、茲に国際ロータリー加盟承認のメンバーとなり、メンバーシップとしての権利と特権の資格を与えられました。この証として国際ロータリーのシールを、ここに貼付し、1962年5月7日付けをもって国際ロータリー役員の署名を記します。

R.I. 会長 ジョセフAアビー
R.I.事務総長 ジョージ・ミーンズ
ガバナー 中 村 米 平

バナー

冬でも温暖な相模の国、いでゆの里に可憐に咲く『つばき』は湯河原町の樹花に桜と共に指定されております。

〔巨勢山のつらつら椿つらつらにみつゝ偲はな巨勢の春野を〕『万葉集』など古歌に詠まれ親しまれている樹花です。

晩冬の寒椿もありますが、湯河原ロータリークラブ創立準備会の頃から創立記念日の頃にかけてヤブツバキが盛んに咲きます。

クラブの生みの親、初代会長、天野弘之さんが東京銀座、きもの店老舗、伊勢半の主人にお願いして、きもの地のデザインの中から生まれた、純日本風的に出来たバナーです。





湯河原ロータリークラブ 創立55周年記念式典プログラム

2017年3月24日(金)
於:ニューウェルシティ湯河原

(敬称略)

第1部 式典(15:00~16:10)

司会 渡邊 久恭

- | | | |
|--------------------|---------------|-------|
| 1. 点鐘 | 会 長 | 望月 博文 |
| 2. 開会の言葉 | 実行委員長 | 神谷 一博 |
| 3. 国歌斉唱 | ソングリーダー | 伊場野雅代 |
| 4. ロータリークラブ「奉仕の理想」 | ソングリーダー | 伊場野雅代 |
| 5. 来賓・招待者紹介 | 会 長 | 望月 博文 |
| 6. 会長挨拶 | 会 長 | 望月 博文 |
| 7. 物故会員に対する黙祷 | | 渡邊 久恭 |
| 8. 来賓祝辞 | 真鶴町長 | 宇賀 一章 |
| | 湯河原町議会議長 | 土屋 誠一 |
| | 第2780地区ガバナー | 佐野 英之 |
| | 小田原ロータリークラブ会長 | 木村 隆也 |
| | 立山ロータリークラブ会長 | 梅沢 良昭 |
| 9. 祝電披露 | 幹 事 | 室伏 学 |
| 10. 寄付金贈呈 | 記念事業委員長 | 石川 博 |
| 11. 記念表彰・感謝状贈呈 | 会 長 | 望月 博文 |
| 12. 閉会の言葉 | 副会長 | 土屋 一弘 |
| 13. 点鐘 | 会 長 | 望月 博文 |
| 14. 諸事お知らせ | | 渡邊 久恭 |

第2部 祝宴(16:30~18:00)

司会 石田 浩二

- | | | |
|--------------------------|---------|-------|
| 1. 開宴の言葉 | 会長エレクト | 石倉 幸久 |
| 2. お祝の言葉 | パストガバナー | 生沼 富治 |
| | パストガバナー | 山地 裕昭 |
| 3. 乾 杯 | ガバナー補佐 | 高田 喜好 |
| 4. アトラクション 「芸妓の舞」 | | |
| 5. ロータリーソング
「手に手つないで」 | ソングリーダー | 伊場野雅代 |
| 6. 閉宴の言葉 | 副実行委員長 | 佐藤 泰文 |

記念事業「町村合併60周年記念事業」
醍醐の桜(太閤千代しだれ)

2016年2月6日 植樹





来賓・招待者御芳名

(順不同・敬称略)

第2780地区ガバナー	佐 野 英 之
第9グループガバナー補佐	高 田 喜 好
第2780地区次年度地区幹事	栗 林 一 郎
第2780地区ガバナーエレクト	大 谷 新一郎
パストガバナー	生 沼 富 治
パストガバナー	山 地 裕 昭
元ガバナー補佐	金 子 義 明
元ガバナー補佐	鈴 木 悌 介
元ガバナー補佐	井 島 誠 行
前ガバナー補佐	石 崎 孝

小田原RC(スポンサークラブ)

会長 木 村 隆 也
幹事 川 瀬 公 之

熱海南RC

会長 青 木 義 美
幹事 青 木 敬

箱根RC 会長 田 代 恭 子
幹事 澤 田 君 雄

網代多賀RC

会長 増 川 勲
幹事 柳 川 信 之

小田原北RC

会長 出 井 裕 人
幹事 柴 田 直 明

立山RC

会長 梅 沢 良 昭
幹事 松 村 和 浩
会 員 ご 一 同
立山RC会員とそのご夫人方

小田原城北RC

会長 辻 村 彰 秀
幹事 櫻 井 康 二

小田原中RC

会長 吉 田 孝
幹事 立 川 公 一

足柄RC 会長 石 井 一 成
幹事 遠 藤 秀 樹

来賓・招待者御芳名

真鶴町長	宇賀 一章 様
湯河原町議会議長	土屋 誠一 様
湯河原温泉観光協会長	高知尾 朝行 様

湯河原ライオンズクラブ	会長 小澤 輝男 様
	幹事 榎本 香咲花 様

ガールスカウト神奈川県連盟第9団	
	団委員長 常盤 恵子 様
	リーダー代表 長田 由美 様

株式会社ポスト広告	専務取締役 石黒 義昭 様
株式会社 アッドプラン	
	代表取締役 永山 順一 様

取材

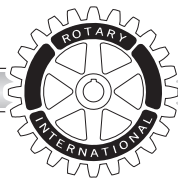
湯河原新聞社

株式会社 タウンニュース社

55周年記念式典







会長挨拶

湯河原ロータリークラブ

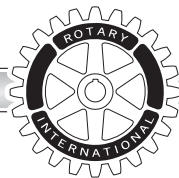
会長 望月博文

本日は湯河原ロータリークラブ創立55周年記念式典を迎えるにあたり、湯河原町議会議長土屋誠一様をはじめ、真鶴町町長宇賀一章様、また近隣の奉仕団体関係者の方々、そして国際ロータリー第2780地区ガバナー佐野英之様をはじめロータリークラブ関係者の皆様方に於かれましては、大変お忙しいところご臨席を賜りこのような盛大な式典を開催することが出来ましたことを、心より厚く御礼申し上げます。湯河原ロータリークラブは小田原ロータリークラブをスポンサーに、チャーターメンバー24名により昭和37年4月20日に創立総会を開き、神奈川県西の小さなクラブではございますが近隣クラブの皆様方の、心からなる、ご指導とご協力を頂きながら、又創立以来、今日まで歴代会長はじめ、会員各位の情熱とたゆまぬ努力によりまして、歴史と伝統を築いて参りました。またクラブにおける基本的考え方は親睦であると教わり、親睦を深めることにより、なお一層その会員を理解する事ができ強い絆で結ばれ、そのような絆から自然に職業奉仕に進み、その職業奉仕から生まれたささやかな利益が地域をはじめとする社会奉仕活動の原資となり、また国際奉仕へと進むと信じます。

当クラブにおきましては、温泉観光地としての環境美化に取り組み、創立10周年には城山山頂にモミジの植栽、20周年には現湯河原中学校にミモザアカシヤ、30周年にはツバキの植栽、40周年は大観山植樹にいろはもみじと駅前広場に電気時計、45周年は池峰の紅葉の郷への植樹があり、50周年には記念モニュメント四季彩の塔を製作させて頂きました。そして55周年の記念事業として昨年の町村合併60周年を記念して、前倒しにはなりますが、幕山公園に京都醍醐寺にある豊臣秀吉ゆかりの桜から育てた醍醐の桜を植樹させて頂きました。またこれからは私たちロータリークラブが地域により効果的な奉仕活動を展開して行くためには、ロータリーとはどのような団体なのか、どのような奉仕活動に取り組んでいるのか地域社会に発信し、そして事業内容を広く伝えていくことだと考え、奉仕活動について、地域、社会に情報発信していくものだと考えます。

私たちのクラブにとって55周年は一つの通過点です。各業界から選ばれたロータリアンとして誇りを持ち、ロータリーの果たすべき役割について考え、地域社会から期待されるクラブを目指して小さなクラブではございますが親睦を熟成させながら規律を守り、調和の取れた居心地の良いクラブライフを目指すと共に、会員相互がロータリーの友情を大切にしながら、善意の輪を広げ、奉仕の理想に向かって更なる希望を胸に、未来へ歩んでいきたいと思ひます。

ここに改めて、ご臨席の皆様方には、より一層のご指導、ご支援を賜りますよう宜しく御願い申し上げて、本日のお礼のご挨拶とさせていただきます。



ご挨拶

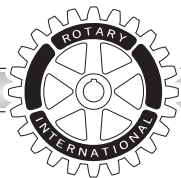
湯河原ロータリークラブ
55周年記念式典実行委員長
神谷 一博

湯河原ロータリークラブの創立55周年記念式典を開催いたしましたところ、ご多用中の中をご来賓をはじめ大勢のみなさまのご臨席を賜り、厚く御礼申し上げます。

この55年を振り返ってみますと、そこには数えきれない多くの出来事、行事、思い出、諸先輩諸氏の努力があったと思います。湯河原ロータリークラブは1962年（昭和37年）4月20日、小田原ロータリークラブにスポンサークラブになって戴き設立いたしました。あらためて歴史のおもみを痛感するとともに、今回55周年式典を盛大にできました事を改めて先人、先輩の皆様に心から感謝申し上げます。

さて、今回の記念行事につきましては、実行委員会のみなさまの創意によりまして質素ながらも心のこもった事業が出来ました。「湯河原町町村合併60周年事業」の一環で京都醍醐寺の太閤千代しだれを町に寄贈させていただきました。長期にわたって湯河原町の観光名所となることを祈っております。

社会情勢が不安定な折り、ロータリーの理念を再確認し初心を忘れず、会員相互の親睦を深めながら地域社会への一層の奉仕に努め、会員増強に留意して参りたいと思います。従前と変わらぬご指導とご支援をお願い申し上げますとともに、本日のご来臨に重ねてお礼申し上げますご挨拶とさせていただきます。



真鶴町役場
町長 宇賀一章

ご 祝 辞

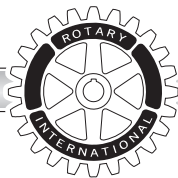
湯河原ロータリークラブ創立55周年記念式典の開催おめでとうございます。

真鶴町では、只今荒井城址公園で「しだれ桜の宴」と題して、開催しております。

しだれ桜は、1分2分咲きですが、木蘭は赤・白とも満開でございます。真鶴にお越しの際は、是非お立ち寄り願いたいと思います。

地域に根ざすロータリークラブの奉仕活動が日本の花、桜のように町民には、大きな期待と希望を与えております。

結びとなりますが、ロータリークラブの益々の活躍とご来場の皆様のご健勝を祈念いたしまして簡単ではございますが、私からのあいさつとさせていただきます。本日は、誠におめでとうございます。



湯河原町議会
議長 土屋 誠一

ご祝辞

皆さん、こんにちは。

湯河原町議会議長の土屋でございます。

湯河原町議会を代表いたしまして、ひとこと、ご挨拶を申し上げます。

本日は、湯河原ロータリークラブ創立55周年の記念式典にご招待を受け、お祝い申し上げる機会を得ましたことは、この上もない喜びであります。

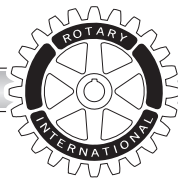
私も40数年前、現在は湯河原ロータリークラブに統合されました湯河原南ロータリークラブの推選を受けて、1か月間アメリカのフロリダ州にて、さまざまな交流体験をさせていただいたことを懐かしく思い出しました。

貴クラブにおかれましては、昭和37年4月の創立以来55年の年月が経ちましたが、この間、極めて順調なご発展を遂げられ、奉仕の理念に基づいて、広く地域に強力な活動を続けておられます。最近では平成28年2月には本町の町村合併60周年を記念し、幕山公園内に「醍醐の桜」を寄贈され記念植樹を行い、また平成24年6月には貴クラブ創立50周年記念事業の一環として、湯河原駅入口交差点付近に湯河原温泉の歓迎塔「四季彩の塔」を整備するなど、観光立町湯河原の推進のため、ご協力いただいておりますことに町議会といたしましても感謝いたしております。

同時にまた、貴クラブがこれまでに発展充実されるに至るまでの歴代会長をはじめ、関係各位のなみなみならぬご苦労に対し、深く敬意を表するものであります。

ここに謹んで創立55周年をお祝いし、本日のご盛会をお喜び申し上げるとともに、将来なお一層のご活躍が続けられ、社会・経済・文化の発展にますますご貢献くださいますよう、ひたすらお願い申し上げ、お祝いの言葉といたします。

本日は誠におめでとうございました。



ご祝辞

国際ロータリークラブ第二七八〇地区
ガバナー 佐野 英之

みなさん、本日は大変おめでとうございます。

このような晴々しい式典に私どもお招きいただきまして、本当に感無量でございます。

本当に有難うございます。

3月の春分の日を使って今週のはじめに東京で桜の開花宣言の発表がありました。

いよいよ春本番かと思ったら、ここ2、3日は寒さで身体が体調不良で、非常に苦労しておりますが、みなさんはいかがお過ごしでしょうか？

またこの伊豆の玄関口の温泉町として、新聞紙上でも賑やかしている湯河原。

最近の新聞で、大手地方銀行が大分大きなプロジェクトを組み立てると、いうような形で湯河原町が更なる発展をということを期待しておりますので、是非湯河原ロータリーも頑張ってくださいと思っています。

さて、この第9グループにおいて、ほがらかなムードのクラブとして、歴史を継続している湯河原ロータリークラブが、創立55周年を迎えることができ、重ね重ねお祝いを申し上げたいと思います。

1962年、4月に中村ガバナーの元、小田原ロータリークラブ宮坂寛次郎特別代表のご指導の元で発足されましたが、ちなみに私はちょうどそのころ、第7グループになったばかりでございます。

この55周年の歴史の中で、当クラブにおいてはロータリーの基本を大切に古きよき伝統を守りながら、親睦を大切にほがらかなムードで現在に至っていると思います。

特に本年度の会長望月さんは特に奉仕・会員増強を目標としておられますが、会員増強はすべてのロータリークラブの永遠のテーマであることわかっておりますが、一人でも多く若い会員を増やしてほしいと希望を持っておりますので、是非がんばって頂きたいと思います。

また、奉仕活動については、今桜の話もございましたが、会員一人一人が奉仕活動とは超我の奉仕に専念するよい機会である。我々がよいことを行うことを選択すれば、必ず私たちによいことはついてくれるはずであります。

つまり、超我の奉仕を人生の指針として、それが善に満ちたものへと導いてくれると、ジョンFジャーム会長は述べております。

さらに彼は、「誰もが未来を予測することは出来ません。しかし私はロータリーとロータリアンを頑なに信じております。今年度のテーマ『人類に奉仕するロータリー』を通じて、よりよい場所に変えていくことであります」と述べております。

是非みなさん、この言葉の通り、「超我の奉仕」を通じて、奉仕活動を継続して参加していければ、今後益々クラブは活性化するはずだと思っています。

そして、この湯河原ロータリークラブがこれまで培ってきた、55年の歴史には人に言えない悩みや、苦労や困難がただあったと思われそうですが、これから先、70年、100年と永遠に輝くクラブとして、地区、また地域に存在感を示すことを切に切望して本領発揮して頂きたいと思います。

最後に当クラブの今後の益々のご発展と、会員のご健勝と並びにご活躍、また本日ご参加の皆様方のご健勝をご祈念申し上げて、私の挨拶にかえさせて頂きます。本日はおめでとうございます。



国際ロータリークラブ第二七八〇地区
第九グループ
ガバナー補佐 高田 喜 好

ご 祝 辞

第2780地区 第9グループガバナー補佐を担当しております、小田原ロータリークラブ所属の高田喜好です。

本日は第2780地区佐野ガバナーはじめ第9グループの会長・幹事・関係者を、お招きいただきまことにありがとうございます。

代表して乾杯の挨拶と、音頭を取らせていただきます。

湯河原ロータリークラブ創立55周年まことにおめでとうございます。

この良き日を迎えるために準備をなさいました会員の皆様、特に望月会長・室伏幹事・神谷実行委員長ご苦労様です。

奉仕の理想を掲げ55年、地元湯河原の地に第9グループで2番目の歴史を持つ、伝統ある創立記念日の節目に出席しお祝いできること、大変、幸せに感じます。

今年度佐野ガバナー公式訪問の前節として、ガバナー補佐訪問がありましたが、その際、キャッチフレーズを掲げさせて頂きました。その文言に新たに一言が追加できました。

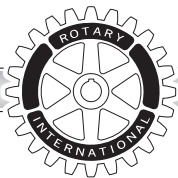
もうわかりますね！！

申し上げます。

国際ロータリー創立111年 みんなでよいことしようロータリー財団100周年そして湯河原ロータリークラブ創立55周年付け加えまして、米山記念奨学、財団設立50周年おまけにビートルズ来日50年これからの新たなる未来に向けた湯河原ロータリークラブの奉仕活動に期待して ここで、乾杯のご唱和をお願いします。

声たからかに「乾杯」！！

おめでとうございます。



会
長
木
村
隆
也

小
田
原
ロ
ー
タ
リ
ー
ク
ラ
ブ

ご 祝 辞

ただいまご紹介にあずかりました、小田原ロータリークラブ会長を務めさせていただきます木村でございます。

この度は、望月会長をはじめいたします湯河原ロータリークラブの皆さま、創立55周年をお迎えになられたということで、本当におめでとうでございます。心よりお慶び申し上げます。

また、このような素晴らしい記念式典にお招き頂きまして、厚く御礼申し上げます。

第9グループの各会長さんがご参列されている中、僭越でございますが、スポンサークラブとして一言お祝いの言葉を述べさせていただきます。

振り返りますと湯河原ロータリークラブの皆さまとは、昭和37年4月20日、小田原クラブといたしましても、初めてのスポンサークラブをさせていただき、創立されたということですが、それ以降55年にわたり、移り変わる世相せうの中、同じ県西のお仲間として奉仕の理想を求め、積極的に地域のために活動をされてきたと思います。

湯河原クラブさんのホームページを拝見させていただきますと、「生き生きとした街づくりに貢献したい、明日を担う子どもや若者たちを支援したい、みんなが平和に暮らせる世界をつくりたい、そんな思いを胸に、私たちは、地域社会に根づいて活動しています。」というスローガンのもと、望月会長はじめ会員の皆さまが歴史と伝統を重んじ、さまざまな地域貢献や奉仕活動を半世紀以上もご活躍されているのも湯河原クラブさんの先輩諸兄のご功績と会員皆さま方の並々な御尽力があったからこそだと感じております。

さて、皆様も御存知の通り、2016-17年度の国際ロータリークラブでのテーマは『人類に奉仕するロータリー』であります。

今年度もあとわずかとなりましたが、改めてこのテーマを考えますと、ロータリークラブは、発足以来「職業奉仕」から始まりさまざまな奉仕活動を展開して参まいり、「奉仕」がロータリークラブの存在理由となっています。

ジョン・ジャームRI会長は「さまざまな分野からの有能な職業人が集まり、世界に確かな変化をもたらすという壮大な目標を実現できる団体は、ロータリークラブのほかにはありません。」と述べております。

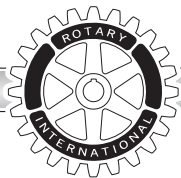
その壮大な目標を実現するために昨年の国際ロータリークラブの規定審議会から、ロータリークラブは、大きく変わろうとしています。

この大きな変革の中、湯河原クラブさんは、55年の歴史を持つクラブですので、ぜひ、湯河原クラブさんのカラーを大切にこれからも益々活躍していただければと思っております。

私たち小田原クラブも湯河原クラブさんと共に、協力し合い、将来を見据えた活動を展開し、切磋琢磨しながら、より一層、活気あるクラブになるよう取り組んでいきたいと思っております。

3月も後半に入り、寒さもようやくゆるんでまいりました。自然豊かな湯河原の地にも桜花爛漫が近づき、心もからだも晴れやかになり、皆様が益々ご健勝で、ご活躍されることをご祈念申し上げ、はなはだ、簡単ですが、私の挨拶とお祝いの言葉とさせていただきます。

皆様、本当におめでとうでございます。



ご 祝 辞

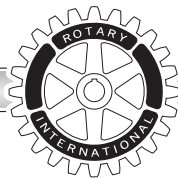
立山ロータリークラブ
会長 梅沢 良 昭

このたび、湯河原ロータリークラブが創立55周年を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。2004年に貴クラブと立山ロータリークラブが友好クラブ締結を結んで以来、会員の皆様とは日頃より親しくご厚誼をいただいていますことに深く感謝申し上げます。また、このたびのお祝いの席にお招きをいただきありがとうございます。

貴クラブは1962年に創立され、ロータリーの精神に則り、会員の親睦を深めることにより強い絆を結び、更に職業奉仕を進めながら社会奉仕活動を実践され、地域社会の発展のためにご尽力されていることに心より敬意を表します。

私ども立山ロータリークラブの会員は、5年ぶりにこの地を訪れることができました。風光明媚な豊かな自然に恵まれ、気候も温暖で、文人との所縁も深い歴史ある温泉地である湯河原に再び訪れる機会をいただき、会員一同この日を心待ちにしていました。また、湯河原ロータリークラブ会員の皆様には、2013年に私どものクラブの創立25周年記念に多数ご出席いただき、ありがとうございました。昨年12月には、本日の55周年記念式典のご案内にもお出でいただきました。今回、私どもは一昨年開業した北陸新幹線を利用して参りました。遠く離れていますが、ずいぶん距離が縮まったように感じています。

これからも両クラブの姉妹提携が末長く続くことを願いながら、湯河原ロータリークラブの今後のますますのご発展とご活躍、会員の皆様のご健康とご多幸を心からご祈念申し上げて、友好クラブからのお祝いの言葉といたします。



パ
ス
ト
ガ
バ
ナ
ー

生
沼
富
治

国際ロータリークラブ第二七八〇地区
(小田原北ロータリークラブ)

ご祝辞

湯河原クラブの皆さん、創立55周年お芽出とうございます。

未だ50周年の思い出が蘇りつつある昨今ですが、近年のロータリー事情の変容を考えると、まさに当を得た周年行事と存じます。

元来ロータリーは、特に伝統を重んじ、温故知新を期待しております。

5年毎に創始に還り、行く先を占うこのよき日に、お招き頂き有難うございました。

私もまた、幸運なことに昭和41年入会以来、分区代理であった天野先輩から“人知れず”温かい、また適格なご指導を頂いてまいりました。その上、ガバナー就任時に頂いた思いがけない激励のお便りから元気と勇気を頂きました。年毎に、湯河原がとても心安まる場所となってくれました。

平成4年、4月10日付で、東京の先輩パストガバナーから、安野譲次さんの小冊子、“はげすずめ”が届きました。就任直前の私への温かいお心づかいが私のロータリーに、生気を注いでくれました。

中でも、“春の雨”でした。丁度、この時節に降る恵の雨です。

「ロータリーの奉仕は春雨の如く、静かに明るく人知れず大地を潤し、この世を美しく、そして住みよくするものであると信じます」。に心まで洗われました。

安野さんは、別名ジョージ・ヤスノとしても国際的にも著者なロータリアンでした。

晩年は縁あって小田原に安住の地を定められ、折あれば湯河原温泉で、天野さんと静かに明るく大地を潤す春雨の美しい景観を愉しみながら、ロータリー談義を交わされたことでしょう。私も、湯河原を訪れる度に、そんなお2人の姿を思い浮かべるのです。

湯河原クラブの皆様のご多幸を祈り乍ら、今後とも湯河原の大地を潤す春雨を期待して、お祝いの言葉といたします。



パ
ス
ト
ガ
バ
ナ
ー
山
地
裕
昭

国際ロータリークラブ第二七八〇地区
(足柄ロータリークラブ)

ご祝辞

湯河原ロータリークラブ創立55周年、心よりお喜び申し上げます。私自身生沼PGがいみじくも言うておられますが、ロータリーはマジック。そうですね私たち家族そして仕事、地域その中で日々暮らしておりますけれども、その中でロータリーと出会い、これだけ一人一人の人生に私は、広がりを持てたと思います。

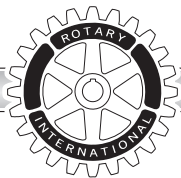
そしてロータリー繋がりの中で、大勢の人を巻き込みながら、湯河原は常に自然環境をメインに記念事業報告の中で、湯河原に来ている皆さんの目を喜ばそうと、植樹活動をしております。

そしてロータリアンだけでは大変だどうしよう、では地域の人を巻き込もうと教育委員会、学校の先生方をお願いして小学生それからいろんな学生を動員してやっていこうと、一つの植樹から地域を巻き込みそしてその子供たちを巻き込むことによって、その子供たちの家族も親も親の心も動かしながらやっておられる姿、湯河原を愛し、そして湯河原に来てくれる人たちの心を和まそうと、一生懸命やっておられる姿に私は感銘を常に受けておりました。

そして私が最後の分区代理を仰せつかった時に、伊藤さんそれから小松さん一生懸命いろいろ助けてくれました。なにしろ嬉しかったのは、初代の天野会長さんが私の時にはもう車いすで部屋にいたと思うのですが、私が湯河原ロータリークラブの例会に訪問いたしました時に、声をかけて頂きました。その時の事が非常に嬉しかったです。

これからもどうぞロータリー繋がりの中で、大勢の人々を巻き込みながら60年、70年、100年という周年を迎えるように、ロータリアンの力を結集して歩んで頂きたいと思っています。

本当に湯河原ロータリークラブ創立55周年、心よりお喜び申し上げます、おめでとうございます。



お祝いのメッセージ

米山奨学生
Josephine Yao
姚家詠 (ヤオジャーヨン)

この度は湯河原ロータリークラブ創立55周年をお迎えされましたこと、誠におめでとうございます。

奨学生としての一年、湯河原ロータリークラブの皆様にお世話になっておりました。その後社会人として湯河原ロータリークラブに帰って、月会やイベントに参加することもありました。日本で一人暮らす私にとって、湯河原ロータリークラブの皆様は家族のような存在で、いつも温かい笑顔で私を歓迎してくださいます。

皆様のおかげさまで、今年ようやく日本で果たしたい目標「日本と各国の架け橋なる」を実現しました。現在日本の化粧品会社の海外事業部で活躍している私は、よく湯河原ロータリークラブでの1年間いろいろなことを思い出します。その思い出は私の大切な宝で、これからも皆様と素敵な思い出をつくれと思います。

今後の湯河原ロータリークラブはさらなる発展を心よりお祈り申し上げます。





第51代会長

山 本 明 峰

会長をお受けするに当たっては、いよいよ「担当」が回
ってきてしまったか、というのが偽らざる心境でございま
した。

その、私の担当した年度で特に記すべきは、先ず事務局
員の交代が行われたことです。前任者が40年以上勤務され
た後を引き継いでいただくという形でしたので、上手く軌
道に乗っていくものか少々心配もしたのですが、間もなく
それが全くの杞憂であることが分かりました。

現任である高橋さんには、年度を通じ、大変なサポート
をいただきました。

年が明けて1月には、IM合同例会のホスト輪番制が復
活し、早速湯河原クラブが担当する番でした。これには、
前年度会長の伊藤さんが実行委員長をお務めいただき、無
事に開催することが出来ました。

私事で恐縮ですが、この年度が始まって間もなく、師父
が身罷り、兎に角ばたばたとしたスタートになり、結局
「ばたばた」が年度を通しての常態となってしまった様で
す。それでも、良くも悪くも大過なく過ごせたのは、この
年度、幹事をお務めいただいた石倉さん、副会長をお願い
した佐藤さんはじめ、皆様のご協力のたまものと、深く感
謝いたしております。



ベルナーレ・ビュフェ美術館にて



第52代会長

渡 邊 久 恭

2013－2014年度の第9グループの会長、幹事は小田原中ロータリークラブの井島誠行ガバナー補佐のもと非常にまとまっていて、楽しく活動していたと思います。

今でも、このメンバーで井島会として毎年、集まっています。

この年は、友好クラブの立山ロータリークラブが創立25周年であり、10月20日の立山ロータリークラブ創立25周年記念式典に湯河原ロータリークラブのメンバーほぼ全員で出席させて頂きました。

前夜祭にも、ご招待して頂き楽しい夜を過ごさせて頂きました。

私は、式典で来賓の祝辞をさせて頂くと言う事で、当日まで非常に緊張していました。

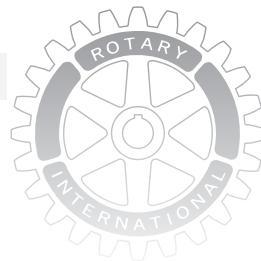
湯河原ロータリークラブの皆様の協力のおかげで、祝辞も無事、終わることが出来ました。

私の人生において一生忘れられない2日間でした。

ロータリー活動はまず親睦がまず第一に重要だと、私は思いました。



立山ロータリークラブ創立 25 周年記念式典にて



第53代会長

神 谷 一 博

2014~2015年度の会長を仰せつかりました時、最初に伝統ある湯河原ロータリークラブの名に恥じない会長を全うする事が出来るのであろうかとの思いが去来しました。しかしロータリーは親睦に始まり、とは言うものの新参者の私にとってこの一年は厳しいながら多くの諸先輩方と深澤昌光幹事、澤田君雄ガバナー補佐のお力をお借りして会長を次の年度に引き継ぐことが出来ました。皆さまありがとうございました。

さて、この年度はゲイリーC KホァンR I会長で「ロータリーに輝きを」第2780地区は渡辺治夫ガバナー「自分自身に輝きを」がそれぞれのテーマでした。

米山記念奨学生のヤオ ジャーヨンさんの受け入れ、青少年交換生のヤクーツクから来たアレックス君の対応、他クラブの周年式典への出席、ガールスカウト周年式典への出席、西山敦会員の叙勲のお祝い、かながわ2780ロータリークラブの認証状伝達式出席等思い出に残る事が多く充実したロータリーならではの会長年度を送らせて頂きました。一つ一つの事柄がつい最近のように思い出されます。しかし陰で支えてくれていた身近なロータリーの会員がいたからこそ会長をこなせたんだと会長を終わってから遅まきながら思いをはせ、思い出と共に感謝を同時に思い起こされます。

またこの年度の一年で未熟な会長にも係わらず多くのロータリアンとの交流が出来たことは、ありがたく思っております。この貴重な経験を元に湯河原ロータリークラブを始め、他クラブと共にロータリーバッチの重みを増していく努力をしようと思っております。これからもご指導宜しくお願い致します。



ポリオ撲滅キャンペーン
「ふれあい広場産業祭」





第54代会長

佐藤 泰文

昨年度の会長を務めさせていただき、田中賢三ガバナーの年度でした。会長も2度目なので軽い気持ちでいましたが、一年振り返ってみましたら、なかなか大変な一年だったと思います。

田中ガバナーの方針は、只々ロータリー精神を培わせることで、会長挨拶は時事などを話さなくてもよい、ロータリーの友などの活用で、勉強会的な雰囲気での例会をといわれました。かと言ってロータリーの勉強をしたかと言われても困る私でしたが、RI会長のメッセージの引用、諸誌の活用などで新たな発見もあり、話せた小さな事も『世界へのプレゼントになろう』になったのかなと思うこともあります。田中ガバナーの言われた「一意専心と言うように、一専を持ち、一専を磨くべし」と、今までロータリアンとしての意識はあまりなかったですが、新たな発見と考え、ロータリーの奉仕の精神、好意と友情の大切さを殺伐とした現実社会を考えますと、ひしひしと感じられます。

55周年事業の前倒しで、湯河原町60年記念で『醍醐寺』の桜の植樹をしました。樹木は何れは大きくなります。大先輩方のロータリーの奉仕活動で行われた紅葉の植林では、毎年会員仲間で手入れにいき、一休みにお茶を飲み食事しての場での会員同士のふれ合いが、更に大きな絆となっています。西山敦会長年度に私が幹事をしました。その年には立山クラブと友好クラブの締結ができ千歳川沿い、五所神社境内に桜の季節には華を咲かせ多くの人たちの目を楽しませてくれます。

事を始めるのは簡単です。しかしそれを維持継続するには多くの支えが必要となります。ロータリーの目的でもあります。意義ある奉仕の理念を奨励し、育むことです。知り合いを広めること、役立つ仕事はすべて価値あるものとし、日常奉仕の理念を実践する、これが『世界へのプレゼントになろう』と、考えましたが、こんな考えをしたことが大事であったのかと思うと、有意義な2度目の会長でした。

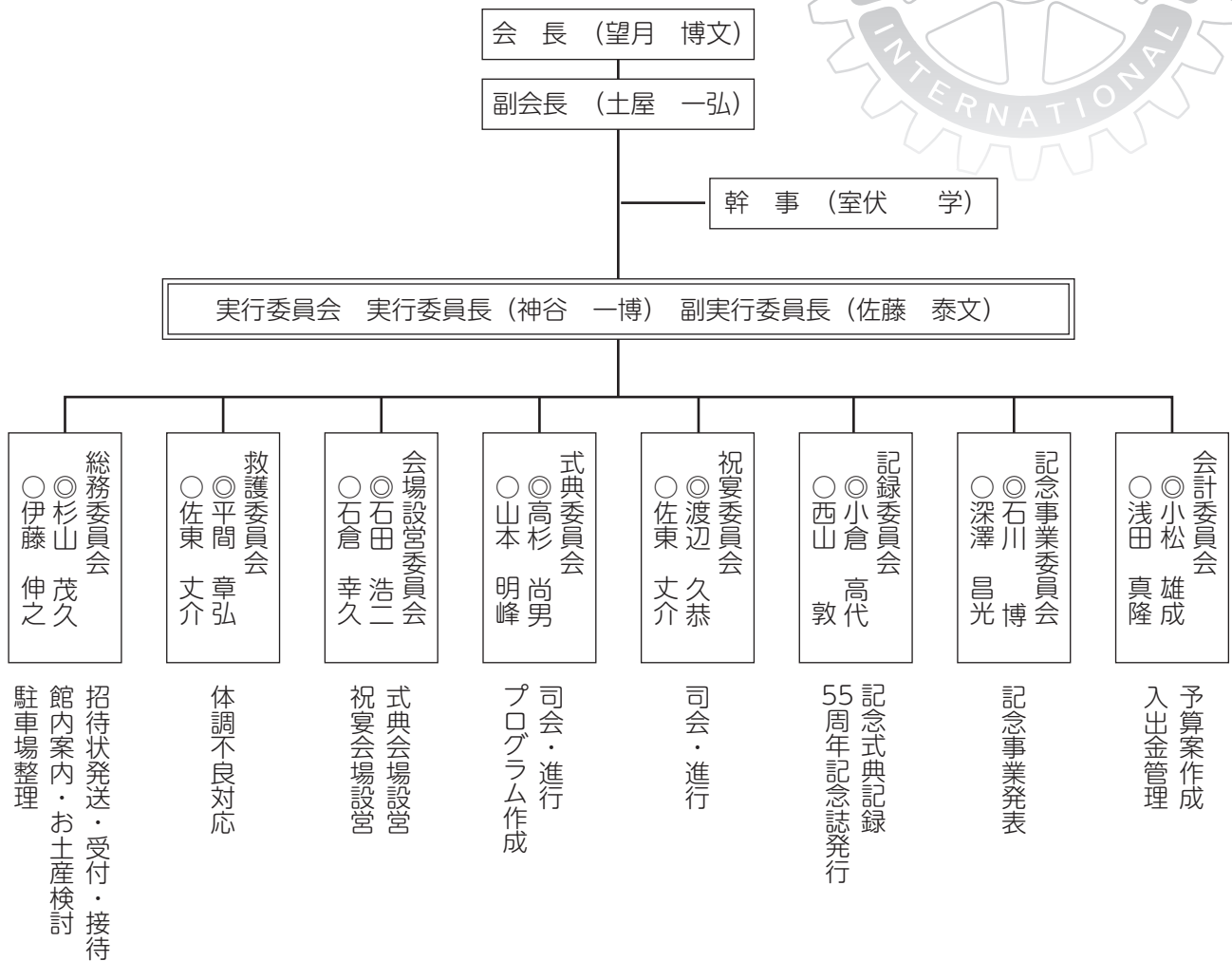
年度末はソウルでの世界大会でした。湯河原クラブからは7名の会員家族で壮大な開会式に出席し、行ってみなければわからない式典の醍醐味でした。藩基文国連総長の記念スピーチでは、ご自身の多くの親族を紹介され、お互いの深い好意友情で、ご自身の立場を手を携え護っていただけたと絶賛していました。楽しかったです。

最後に、当クラブの更なる発展を願うばかりです。



奉仕活動 毎年恒例の「大観山下草刈り」

55周年記念式典大会組織図



55周年実行委員会メンバー表

会 長	望月 博文	各委員長	小松 雄成	杉山 茂久
幹 事	室伏 学		平間 章弘	高杉 尚男
実行委員長	神谷 一博		渡辺 久恭	石川 博
			石田 浩二	小倉 高代
				以上11名

部門別委員会	◎委員長	副委員長	委 員
総 務	杉山 茂久	伊藤 伸之	高知尾朝行 渡辺 久恭 石川 博 伊場野雅代 浅田 真隆 石倉 幸久 石田 浩二 小松 雄成 常盤 章夫 小倉 高代
会場運営	石田 浩二	石倉 幸久	山本 明峰 室伏 学 渡辺 久恭 佐東 丈介
式 典	高杉 尚男	山本 明峰	石田 浩二 小倉 高代
祝 宴	渡辺 久恭	佐東 丈介	石倉 幸久 佐藤 友彦
記 録	小倉 高代	西山 敦	室伏 学 伊場野雅代
記念事業	石川 博	深澤 昌光	浅田 真隆 常盤 章夫
会 計	小松 雄成	浅田 真隆	高橋 一

湯河原ロータリークラブ創立経緯

第一回準備会

日 時 昭和37年2月26日 午後3時
場 所 天野屋旅館新館
天野弘之氏提唱により湯河原ロータリークラブ

(仮称)結成につき準備会開催

出席者 天野弘之、高橋柳吉、小沢栄三郎、
小沢新太郎、檜原正愛、加藤福松

- 決議 1. 小田原ロータリークラブをスポンサークラブとして湯河原ロータリークラブ(仮称)を設立すること。
2. 本日会合の6氏をキーマンと決定。

第二回準備会

日 時 昭和37年3月2日 午後2時
場 所 天野屋旅館新館
出席者 天野弘之、高橋柳吉、小沢栄三郎、
小沢新太郎、檜原正愛、加藤福松

- 決議 1. 当初25名位にて発足のこと。
2. 来る3月15日各地区(真鶴・吉浜・温泉場・奥湯河原)予想メンバー持寄る事、

第三回準備会

日 時 昭和37年3月15日 午後3時
場 所 天野屋旅館新館
出席者 天野弘之、高橋柳吉、小沢栄三郎、
小沢新太郎、檜原正愛、加藤福松
スポンサークラブ小田原ロータリークラブより指導者として
飯沼相三郎 小田原ロータリークラブ理事
佐藤 謙吉 小田原ロータリークラブ理事
井上 仙蔵 小田原ロータリークラブ幹事
八亀 武雄 湯河原町長

橋本 徳治 真鶴町長

チャーターメンバー 浜田三郎、平井吉之助
矢ノ下美智雄、三氏欠席の外全員
湯河原ロータリークラブ創立総会次第(案)

1. 開会の辞 スポンサークラブ幹事 井上 仙蔵

1. 君が代斉唱

1. 来賓紹介 特別代表 宮坂寛次郎

1. 経過報告 同上

1. 議事 議長 特別代表

1. 役員選任 同上

1. 役員発表 同上

1. 会長挨拶

1. メンバー紹介 湯河原クラブ会長

1. ガバナー告示 中村米平ガバナー

1. 来賓祝辞

1. 閉会の辞 湯河原クラブ副会長

以 上

準備会は和気あいあいのうちにも極めて厳粛に行われ定款の決定並に役員選任は議長一任として定款は別添標準ロータリークラブ定款並に推奨クラブ細則に則り、役員は別項の通り決定した。

理 事 会 長 天野 弘之 幹 事 加藤 福松

理 事 副会長 小沢栄三郎 会 計 八亀 広蔵

理 事 小沢新太郎 会場監督 八亀 昌美

理 事 檜原 正愛 理 事 高橋 柳吉

理 事 伊藤 鶴松

職業奉仕委員長 小沢新太郎

社会奉仕委員長 檜原 正愛

国際奉仕委員長 高橋 柳吉

クラブ奉仕担当理事 小沢栄三郎



尚ロータリークラブ関係の来賓及び八亀湯河原、橋本真鶴両町長からも丁重な祝辞を頂戴した。式後盛大なビールパーティーでクラブの発展を祝し、仮クラブとして発足した。又、定款中に入会金1万円、年額会費2万円 例会日 毎週金曜日 午後12時30分より1時30分。

例会場 西相信用金庫本店会議室と定めた。

特別代表 宮坂寛次郎 事務員 堀氏 出席

決議1.チャーターメンバーとして次の通り24名を決定。

湯河原ロータリークラブチャーターメンバー

天野 弘之(日本旅館) 杉山 実(石油販売)

五十嵐寅治(ホテル) 柏木 英雄(幼稚園)

八亀 昌美(日本料理) 加藤 福松(請負業)

平井吉之助(石材販売) 脇山 長男(港湾建設)

橋本 平蔵(住宅経営) 松井 利男(信用金庫)

小沢栄三郎(不動産賃貸) 矢ノ下美智雄(短期金融)

八亀 広蔵(温泉経営) 奈良原正愛(繊維品販売)

吉光 閱爾(耳鼻咽喉科医) 直居 重雄(ゴルフコース)

平間 茂夫(歯科医) 佐藤 咲三(ヘルスリゾート)

中根 孝保(医学研究) 高橋 柳吉(観光事業)

伊藤 鶴松(旅館組合) 小沢新太郎(柑橘栽培)

熊本 賢三(精油製品販売) 浜田 三郎(病院)

2.小田原ロータリークラブへチャーターメンバー提出のこと。

第四準備会

日時 昭和37年4月4日 午後2時

場所 天野屋旅館新館

出席者 天野弘之、高橋柳吉、小沢栄三郎、小沢新太郎、檜原正愛、加藤福松
スポンサークラブ小田原ロータリークラブより指導のため、堀事務員が出席。

決議 1.創立総会を次の通り決定

日時 昭和37年4月20日 午後1時

場所 天野屋旅館新館ロビー

2.各チャーターメンバーの職業分類再確認

3.定款案決定

4.4月9日(月)小田原ロータリークラブの例会をキーメンは見学のため出席すること。

創立総会

日時 昭和37年4月20日 午後1時

場所 天野屋旅館新館ロビー

来賓

中村 米吉 地区ガバナー

柳瀬 省吾 パストガバナー

湯浅 恭三 ガバナー・ノミニ

清瀬 二郎 拡大委員

岩崎 裕孝 第二分区代理

宮坂寛次郎 特別代表

武田 国三 小田原ロータリークラブ会長

今井徳左衛門 小田原ロータリークラブ幹事

55年間の記憶



初代 1962～63 (62/4/20創立)
 会長 天野 弘之
 R.I.会長 ニッチシ C. ラハリー
 ターゲット 1.内部火を燃やせ 2.自信を発見せよ 3.力を伸ばせ 4.目的を表示せよ
 ガバナー 中村 米吉 (東京北)
 分区代理 岩崎 裕彦 (藤沢)
 幹事 加藤 福松



第2代 1963～64
 会長 天野 弘之
 R.I.会長 カール P. ミラー
 ターゲット 1.個人対個人 2.クラブ対クラブ 3.地区対地区
 ガバナー 湯浅 恭三 (東京)
 分区代理 今井 徳左衛門 (小田原)
 幹事 加藤 福松



第3代 1964～65
 会長 小沢栄三郎
 R.I.会長 チャールズ W. ペテンギル
 ターゲット ロータリーに生きよう
 ガバナー 笹部 誠 (川崎)
 分区代理 岩堀 政臣 (平塚)
 幹事 八亀 昌美



第4代 1965～66
 会長 直居 重雄
 R.I.会長 C. P. H. ティーンストラ
 ターゲット 1.行動 2.強化 3.継続性
 ガバナー 鱸 正太郎 (静岡)
 分区代理 天野 弘之 (湯河原)
 幹事 杉山 実



第5代 1966～67
 会長 檜原 正愛
 R.I.会長 リチャード L. エバンス
 ターゲット ロータリーでよりよい生活を
 ガバナー 白山源三郎 (横浜)
 分区代理 佐藤 謙吉 (小田原)
 幹事 五味 淳芳



第6代 1967～68
 会長 八亀 広蔵
 R.I.会長 ルーサー H. ホッジス
 ターゲット ロータリアンとしてのあなたの資格を効果的に
 ガバナー 大沢伊三郎 (甲府)
 分区代理 鹿島 孝二 (平塚)
 幹事 稲葉 隆



第7代 1968～69
 会 長 高橋 柳吉
 R.I.会長 東ヶ崎 潔
 ターゲット 参加し敢行しよう
 ガバナー 箕浦 多一（神奈川）
 分 区 代 理 事 田辺 重明（相模原）
 幹 事 三輪 宣照



第8代 1969～70
 会 長 吉光 閱爾
 R.I.会長 ジェームス F. コンウェイ
 ターゲット 再検討し刷新しよう
 ガバナー 上野 泰（横浜東）
 分 区 代 理 事 保坂 透（厚木）
 幹 事 八亀 民夫



第9代 1970～71
 会 長 加藤 福松
 R.I.会長 ウィリアム E. ウォーク Jr.
 ターゲット 隔たりを取り除こう ・人と人の間を ・諸国間の ・人とその生活環境
 ガバナー 入江 直祐（神奈川）
 分 区 代 理 事 柘山 寿郎（秦野）
 幹 事 浅田 真章



第10代 1971～72
 会 長 八亀 昌美
 R.I.会長 アンスト G. ブライトホルツ
 ターゲット 善意は先ずあなたから
 ガバナー 田中 忠雄（静岡）
 分 区 代 理 事 蓑島 清夫（小田原）
 幹 事 林 武蔵



第11代 1972～73
 会 長 杉山 実
 R.I.会長 ロイ D. ヒックマン
 ターゲット もう一度見直そう
 ガバナー 石川 吉（川崎）
 分 区 代 理 事 井上 嘉人（小田原北）
 幹 事 岩井徳太郎



第12代 1973～74
 会 長 浅田 真章
 R.I.会長 ウィリアム C. カーター
 ターゲット 今こそ行動のとき
 ガバナー 今井 友之助（甲府）
 分 区 代 理 事 井上 茂平（平塚）
 幹 事 石川 雅雄



第13代 1974～75
 会 長 林 武蔵
 R.I.会長 ウィリアム R. ロビンズ
 ターゲット ロータリーの精神を奮い起こせ
 ガバナー 山田 宗田（鎌倉）
 分 区 代 理 事 古谷顕一郎（箱根）
 幹 事 西山 清



第14代 1975～76
 会 長 稲葉 隆
 R.I.会長 エルセスト・インパッセイ・デ・メロ
 ターゲット 人間に威信を
 ガバナー 上野 豊（横浜）
 分 区 代 理 小沢新太郎（湯河原南）
 幹 事 西山 晃一



第15代 1976～77
 会 長 西山 清
 R.I.会長 ロバート A. マンチェスターⅡ
 ターゲット 「奉仕」ロータリーを私は信奉する
 ガバナー 石渡 三郎（横須賀）
 分 区 代 理 八幡 衡平（小田原北）
 幹 事 春宮 寛治



第16代 1977～78
 会 長 岩井徳太郎
 R.I.会長 W. ジャック デービス
 ターゲット 全人類を結びつけるために奉仕せよ
 ガバナー 細谷 実（藤沢北）
 分 区 代 理 高橋 謙作（小田原）
 幹 事 近藤 保



第17代 1978～79
 会 長 平間 茂夫
 R.I.会長 クレム レヌフ
 ターゲット 手をさし伸べよう
 ガバナー 蔵並 定男（鎌倉）
 分 区 代 理 岩井徳太郎（湯河原）
 幹 事 高知尾朝行



第18代 1979～80
 会 長 吉田 充
 R.I.会長 ジェームス L. ポーマー Jr
 ターゲット 奉仕の灯で道を照らそう
 ガバナー 伊藤 茂（相模原中）
 分 区 代 理 吉田 健二（小田原）
 幹 事 伊藤 邦彦



第19代 1980～81
 会 長 大久保 甫
 R.I.会長 ロルフ J. クラリヒ
 ターゲット 時間を捧げよう、奉仕のために
 ガバナー 加藤 進治（横浜）
 分 区 代 理 松島 計介（箱根）
 幹 事 西山 晃一



第20代 1981～82
 会 長 及川 修助
 R.I.会長 スタンレー E. マッキヤフリー
 ターゲット ロータリーを通じて、世界理解と平和を
 ガバナー 渡辺嘉造伊（川崎南）
 分 区 代 理 井上 善雅（小田原北）
 幹 事 高橋 寛



第21代 1982～83
 会 長 黒須 正夫
 R.I.会長 向笠 広次
 ターゲット 人類はひとつ世界中に友情の橋をかけよう
 ガバナ 加藤宗兵衛（伊勢原）
 分 区 代 理 井上 仙蔵（小田原）
 幹 事 岩立 信也



第22代 1983～84
 会 長 室伏 光雄
 R.I.会長 ウィリアム E. スケルトン
 ターゲット みんなにロータリーを、みんなに奉仕を
 ガバナ 加島 淳（横浜磯子）
 分 区 代 理 男澤 正治（小田原中）
 幹 事 浜野 一春



第23代 1984～85
 会 長 西山 晃一
 R.I.会長 カルロス カンセコ
 ターゲット 見つけよう奉仕の新生面
 ガバナ 津田 進（川崎北）
 分 区 代 理 五味 淳芳（湯河原南）
 幹 事 空本 善吉



第24代 1985～86
 会 長 近藤 保
 R.I.会長 エドワード F. カドマン
 ターゲット あなたが鍵です
 ガバナ 上野 良一（鎌倉）
 分 区 代 理 小澤 重治（小田原）
 幹 事 鈴木 至



第25代 1986～87
 会 長 石川 雅雄
 R.I.会長 M. A. T. カパラス
 ターゲット ロータリーは希望をもたらす
 ガバナ 小林 亮（相模原）
 分 区 代 理 近藤 保（湯河原）
 幹 事 天野 邦英



第26代 1987～88
 会 長 春宮 寛治
 R.I.会長 チャールズ C. ケラー
 ターゲット ロータリアン — 奉仕に結束 — 平和に献身
 ガバナ 岡崎 全宏（横浜南）
 分 区 代 理 生沼 富治（小田原北）
 幹 事 府川 清



第27代 1988～89
 会 長 空本 善吉
 R.I.会長 ロイス アビー
 ターゲット ロータリーに活力を — あなたの活力を
 ガバナ 谷口 栄（横浜東）
 分 区 代 理 廣澤 善一（小田原）
 幹 事 小松 雄成



第28代 1989～90
 会 長 伊藤 邦彦
 R.I.会長 ヒュー M. アーチャー
 ターゲット ロータリーを楽しもう
 ガバナー 濱田 勝弥 (伊勢原)
 分 区 代 理 梅津 忠雄 (小田原中)
 幹 事 浅田 真隆



第29代 1990～91
 会 長 府川 清
 R.I.会長 パウロ V. C. コスタ
 ターゲット ロータリーを高めよ 思いを尽くし、熱意を尽くし
 ガバナー 古館 誠 (鎌倉大船)
 分 区 代 理 飯山 耕三 (小田原城北)
 幹 事 伊藤 伸之



第30代 1991～92
 会 長 高知尾朝行
 R.I.会長 ラジェンドラ K. サブー
 ターゲット 自分を越えた目を
 ガバナー 山道 昭彦 (藤沢)
 分 区 代 理 大川 進 (小田原北)
 幹 事 八亀 義臣



第31代 1992～93
 会 長 小松 雄成
 R.I.会長 クリフォード L. ダクターマン
 ターゲット 誠の幸福は人助けから
 ガバナー 生沼 富治 (小田原北)
 分 区 代 理 西田 隆 (箱根)
 幹 事 室伏 安雄



第32代 1993～94
 会 長 伊藤 伸之
 R.I.会長 ロバート R. バース
 ターゲット 行動に信念を・・・信念は行動に・・・
 ガバナー 山本 淳生 (逗子)
 分 区 代 理 肥川治一郎 (湯河原南)
 幹 事 杉山 茂久



第33代 1994～95
 会 長 鈴木 至
 R.I.会長 ビル ハントレー
 ターゲット 友達になろう
 ガバナー 神崎 正陳 (茅ヶ崎湘南)
 分 区 代 理 宝子山知行 (小田原城北)
 幹 事 土肥野 修



第34代 1995～96
 会 長 八亀 義臣
 R.I.会長 ハーバード グラハム ブラウン
 ターゲット 真心の行動・慈愛の奉仕・平和に挺身
 ガバナー 真崎 勇 (座間)
 分 区 代 理 角田 修次 (小田原)
 幹 事 二見 豊廣・平井 弘幸



第35代 1996～97
 会 長 室伏 安雄
 R.I.会長 ルイス ビセンテ ジアイ
 ターゲット 築け未来を、行動力と先見の眼で
 ガバナー 河本 親秀 (大磯)
 分 区 代 理 伊藤 伸之 (湯河原)
 幹 事 林 善丈



第36代 1997～98
 会 長 浅田 真隆
 R.I.会長 グレン W. キンロス
 ターゲット ロータリーの心を
 ガバナー 小山 計玄 (伊勢原)
 分 区 代 理 井島 誠夫 (小田原北)
 幹 事 飛田 政司



第37代 1998～99
 会 長 林 善丈
 R.I.会長 ジェームス L. レイシー
 ターゲット ロータリーの夢を追い続けよう
 ガバナー 後藤 忠雄 (横須賀南)
 分 区 代 理 安江 明孝 (湯河原南)
 幹 事 常盤 茂芳



第38代 1999～2000
 会 長 杉山 茂久
 R.I.会長 カルロ ラビッツァ
 ターゲット ロータリー2000：活動は — 堅実、信望、持続
 ガバナー 中山達二郎 (綾瀬)
 分 区 代 理 北條 勲 (小田原)
 幹 事 佐東 丈介



第39代 2000～01
 会 長 飛田 政司
 R.I.会長 フランク J. デブリン
 ターゲット 意識を喚起し — 進んで行動を
 ガバナー 小沢 一彦 (横須賀)
 分 区 代 理 小松 雄成 (湯河原)
 幹 事 平間 章弘



第40代 2001～02
 会 長 日比谷和志
 R.I.会長 リチャード D. キング
 ターゲット 人類が私たちの仕事
 ガバナー 竹内 万也 (秦野)
 分 区 代 理 山地 裕昭 (足柄)
 幹 事 西山 敦



第41代 2002～03
 会 長 佐東 丈介
 R.I.会長 ビチャイ・ラタクル
 ターゲット 慈愛の種を播きましょう
 ガバナー 鹿島 直麿 (相模原中)
 ガバナー補佐 遠藤 丈太 (小田原)
 幹 事 菅原 保



第42代 2003～04
 会 長 平間 章弘
 R.I.会 長 ジョナサン B.マジリアベ
 ターゲット 手を貸そう
 ガバナー 中西 功 (鎌倉西)
 ガバナー補佐 山地 裕昭 (足柄)
 幹 事 高杉 尚男



第43代 2004～05
 会 長 西山 敦
 R.I.会 長 グレン E. エステス シニア
 ターゲット ロータリーを祝おう
 ガバナー 松宮 剛 (茅ヶ崎湘南)
 ガバナー補佐 西田 隆 (箱根)
 幹 事 佐藤 泰文



第44代 2005～06
 会 長 菅 原 保
 R.I.会 長 カール・ヴィルヘルム・ステンハマー
 ターゲット 超我の奉仕
 ガバナー 仲田 昌弘 (鎌倉中央)
 ガバナー補佐 河野 秀雄 (小田原城北)
 幹 事 田村 治義



第45代 2006～07
 会 長 高杉 尚男
 R.I.会 長 ウィリアム B.ボイド
 ターゲット 率先しよう
 ガバナー 西田 隆 (座間中央)
 ガバナー補佐 廣崎 充紀 (平塚北)
 幹 事 高橋 延幸



第46代 2007～08
 会 長 佐藤 泰文
 R.I.会 長 ウィルフリッド J. (Wilf) ウィルキンソン
 ターゲット ロータリーは分かちあいの心
 ガバナー 小佐野 圭三 (横須賀)
 ガバナー補佐 遠藤 丈太 (小田原)
 幹 事 山本 明峰



第47代 2008～09
 会 長 高橋 延幸
 R.I.会 長 李東建
 ターゲット 夢をかたちに
 ガバナー 山地 裕昭 (足柄)
 ガバナー補佐 金子 義明 (小田原中)
 幹 事 渡辺 久恭



第48代 2009～10
 会 長 石川 雅雄
 R.I.会 長 ジョン・ケニー
 ターゲット ロータリーの未来はあなたの手の中に
 ガバナー 奥津 光弘 (秦野中)
 ガバナー補佐 小山 勉 (足柄)
 幹 事 神谷 一博



第49代 2010～11
 会 長 小松 雄成
 R.I. 会 長 レイ・クリングスミス
 ターゲット 地域を育み、大陸をつなぐ
 ガバナー 後藤 定毅（大和中）
 ガバナー補佐 井上 寛（小田原城北）
 幹 事 浅田 真隆



第50代 2011～12
 会 長 伊藤 伸之
 R.I. 会 長 カルヤン・バネルジー
 ターゲット こころの中を見つめよう 博愛を広げるために
 ガバナー 森 洋（横須賀北）
 ガバナー補佐 橋本 槇雄（小田原）
 幹 事 望月 博文



第51代 2012～13
 会 長 山本 明峰
 R.I. 会 長 田中 作次
 ターゲット 奉仕を通じて平和を
 ガバナー 菅原 光志
 ガバナー補佐 鈴木 悌介
 幹 事 石倉 幸久



第52代 2013～14
 会 長 渡邊 久恭
 R.I. 会 長 ロン D. パートン
 ターゲット ロータリーを実践しみんなに豊かな人生を
 ガバナー 相澤 光春
 ガバナー補佐 井島 誠行
 幹 事 石田 浩二



第53代 2014～15
 会 長 神谷 一博
 R.I. 会 長 ゲイリー C. K. ホアン
 ターゲット ロータリーに輝きを
 ガバナー 渡辺 治夫
 ガバナー補佐 澤田 君雄
 幹 事 深澤 昌光



第54代 2015～16
 会 長 佐藤 泰文
 R.I. 会 長 K. R. “ラビ”ラビンドラン
 ターゲット 「世界へのプレゼントになろう」
 ガバナー 田中 賢三
 ガバナー補佐 石崎 孝
 幹 事 山本 明峰



第55代 2016～17
 会 長 望月 博文
 R.I. 会 長 ジョン F. ジャーム
 ターゲット 人類に奉仕するロータリー
 ガバナー 佐野 英之
 ガバナー補佐 高田 喜好
 幹 事 室伏 学

永年在籍表彰



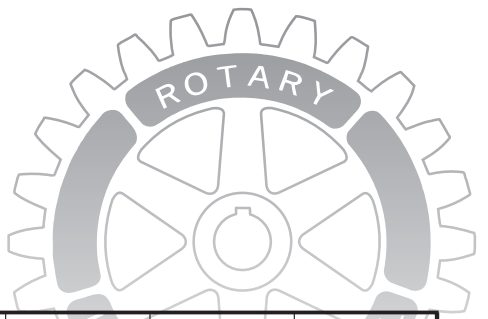
湯河原ロータリークラブ 在籍30年以上

浅 田 真 隆 (在籍34年)

小 松 雄 成 (在籍33年)

伊 藤 伸 之 (在籍32年)



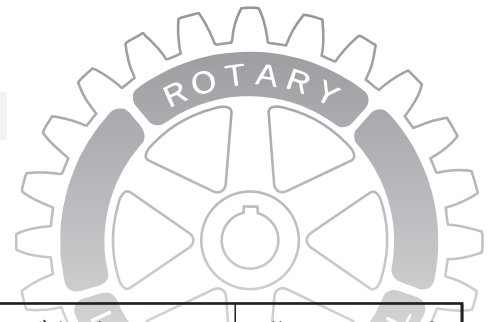


歴代役員

代数	年 数	会 長	副会長	幹 事	代数	年 数	会 長	副会長	幹 事
初代	1962～63	天野 弘之	小沢栄三郎	加藤 福松	39代	2000～01	飛田 政司	吉光 閱爾	平間 章弘
2代	1963～64	天野 弘之	小沢栄三郎	加藤 福松	40代	2001～02	日比谷和志	稲葉 隆	西山 敦
3代	1964～65	小沢栄三郎	直居 重雄	八亀 昌美	41代	2002～03	佐東 丈介	空本 善吉	菅原 保
4代	1965～66	直居 重雄	榑原 正愛	杉山 実	42代	2003～04	平間 章弘	八亀 義臣	高杉 尚男
5代	1966～67	榑原 正愛	八亀 広蔵	五味 淳芳	43代	2004～05	西山 敦	府川 清	佐藤 泰文
6代	1967～68	八亀 広蔵	相沢 安信	稲葉 隆	44代	2005～06	菅原 保	多田 宏	田村 治義
7代	1968～69	高橋 柳吉	加藤 福松	三輪 宣照	45代	2006～07	高杉 尚男	飛田 政司	高橋 延幸
8代	1969～70	吉光 閱爾	平間 茂夫	八亀 民夫	46代	2007～08	佐藤 泰文	小松 雄成	山本 明峰
9代	1970～71	加藤 福松	大久保 甫	浅田 真章	47代	2008～09	高橋 延幸	佐東 丈介	渡辺 久恭
10代	1971～72	八亀 昌美	稲葉 隆	林 武蔵	48代	2009～10	石川 雅雄	山本 明峰	神谷 一博
11代	1972～73	杉山 実	五十嵐寅治	岩井徳太郎	49代	2010～11	小松 雄成	西山 敦	浅田 真隆
12代	1973～74	浅田 真章	丹 羽 之	石川 雅雄	50代	2011～12	伊藤 伸之	常盤 章夫	望月 博文
13代	1974～75	林 武蔵	菅原 宏	西山 清	51代	2012～13	山本 明峰	佐藤 泰文	石倉 幸久
14代	1975～76	稲葉 隆	及川 修助	西山 晃一	52代	2013～14	渡邊 久恭	高杉 尚男	石田 浩二
15代	1976～77	西山 清	岩井徳太郎	春宮 寛治	53代	2014～15	神谷 一博	高知尾朝行	深澤 昌光
16代	1977～78	岩井徳太郎	平間 茂夫	近藤 保	54代	2015～16	佐藤 泰文	伊藤 伸之	山本 明峰
17代	1978～79	平間 茂夫	吉田 充	高知尾朝行	55代	2016～17	望月 博文	土屋 一弘	室伏 学
18代	1979～80	吉田 充	大久保 甫	伊藤 邦彦					
19代	1980～81	大久保 甫	及川 修助	西山 晃一					
20代	1981～82	及川 修助	黒須 正夫	高橋 実					
21代	1982～83	黒須 正夫	室伏 光雄	岩立 信也					
22代	1983～84	室伏 光雄	西山 晃一	浜野 一春					
23代	1984～85	西山 晃一	近藤 保	空本 善吉					
24代	1985～86	近藤 保	石川 雅雄	鈴木 至					
25代	1986～87	石川 雅雄	春宮 寛治	天野 邦英					
26代	1987～88	春宮 寛治	空本 善吉	府川 清					
27代	1988～89	空本 善吉	伊藤 邦彦	小松 雄成					
28代	1989～90	伊藤 邦彦	岩立 信也	浅田 真隆					
29代	1990～91	府川 清	熊野浩三郎	伊藤 伸之					
30代	1991～92	高知尾朝行	木村 竹次	八亀 義臣					
31代	1992～93	小松 雄成	山下 貞夫	室伏 安雄					
32代	1993～94	伊藤 伸之	鈴木 至	杉山 茂久					
33代	1994～95	鈴木 至	八亀 義臣	土肥野 修					
34代	1995～96	八亀 義臣	室伏 安雄	二見 豊廣					
				平井 弘幸					
35代	1996～97	室伏 安雄	杉山 茂久	林 善丈					
36代	1997～98	浅田 真隆	向笠 進	飛田 政司					
37代	1998～99	林 善丈	湯川 義晴	常盤 茂芳					
38代	1999～2000	杉山 茂久	日比谷和志	佐東 丈介					

会 員 名 簿

氏 名	職業分類	勤 務 先 及 び 役 名	住 所
1 高知尾 朝 行	温 泉 旅 館	㈱京栄商事青巒荘 社長 湯河原町宮上679 TEL63-3111 FAX63-3116	宮上673 TEL62-9157 090-7214-0058
2 浅 田 真 隆	電 気 工 事	㈱三和商会 代表取締役社長 湯河原町土肥2-1-3 TEL62-8225 FAX63-3204	同 左 090-3530-7046
3 小 松 雄 成	不 動 産 賃 貸	湯河原町宮上742-92 TEL63-1427 FAX63-6852	同 左 090-4364-6301
4 伊 藤 伸 之	日 本 旅 館	伊藤屋旅館 社長 湯河原町宮上488 TEL62-2004 FAX62-1900	同 左 090-3061-8453
5 杉 山 茂 久	石 油 販 売	湯河原燃料企業組合 理事 湯河原町宮上348 TEL63-4131 FAX63-4133	宮上347 TEL63-7838 090-4010-1826
6 佐 東 丈 介	接 骨 師	佐東接骨院 院長 湯河原町土肥5-13-17 TEL63-0981 FAX63-0981	同 左 TEL63-5855 090-3135-2207
7 佐 藤 泰 文	仏 教	青谷山 福泉寺 住職 熱海市泉191 TEL62-2354 FAX64-0550	同 左 090-4364-9965
8 平 間 章 弘	歯 科 医	平間歯科カジヤ医院 院長 湯河原町中央3-2-1 TEL63-1181 FAX62-0258	同 左 090-4592-6392
9 西 山 敦	神 道	五所神社 宮司 湯河原町宮下359-1 TEL62-2955 FAX62-5869	同 左 090-8685-1313
10 高 杉 尚 男	不 動 産 業	㈱エス・シーリング 代表取締役社長 湯河原町土肥5-16-1 TEL62-1616 FAX64-1902	同 左 TEL62-0221 070-5079-3433
11 山 本 明 峰	仏 教	万年山 城願寺 住職 湯河原町城堀252 TEL62-4010 FAX60-1579	同 左 080-5917-1577
12 渡 辺 久 恭	建 材 業	アサヒトヨー住器㈱ 代表取締役社長 湯河原町土肥4-17-13 TEL63-1583 FAX63-5430	中央4-14-6 TEL62-8623 090-3516-5942
13 神 谷 一 博	温 泉 供 給	湯河原温泉地所㈱ 代表取締役社長 湯河原町宮上773-151 TEL62-2243 FAX46-7828	同 左 090-2658-7562
14 望 月 博 文	塗 装 業	㈱望月塗装 代表取締役 湯河原町中央1-10-7 TEL63-4763 FAX63-5311	同 左 090-3225-3731
15 石 倉 幸 久	食 料 品 販 売	㈱石倉商店 代表取締役社長 湯河原町宮上229 TEL63-6070 FAX63-6070	同 左 TEL62-2685 090-8749-8123



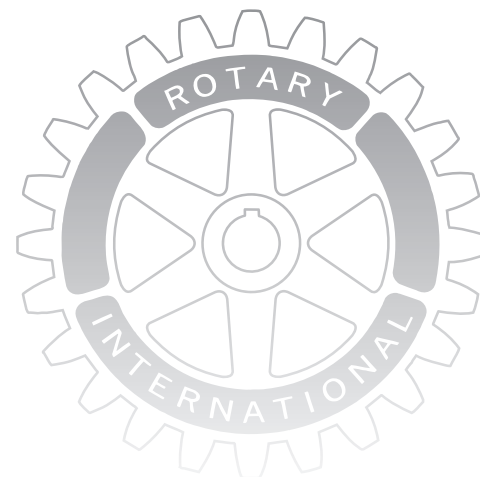
氏 名		職業分類	勤 務 先 及 び 役 名		住 所
16	常 盤 章 夫	薬 局 経 営	(有)トキワ薬局 取締役会長 湯河原町中央1-25-13	TEL62-3672 FAX62-3672	同 左 090-2144-2113
17	石 川 博	ボーリング場	大滝商事(株) 代表取締役 湯河原町宮上357-1	TEL63-0005 FAX63-0004	宮上371-7 TEL63-5088 090-4363-3535
18	土 屋 一 弘	プロパンガス	(有)土屋商店 取締役会長 真鶴町真鶴411	TEL68-1211 FAX68-1700	同 左 090-3225-8385
19	深 澤 昌 光	日 本 旅 館	(有)深澤旅館 取締役 湯河原町土肥5-4-6	TEL62-2950 FAX62-5457	同 左 090-8874-5297
20	石 田 浩 二	観 光 事 業	(株)フォレスト 代表取締役 湯河原町城堀207	TEL62-2950 FAX63-0149	土肥1-7-9-708 TEL63-1417 090-3337-8258
21	室 伏 学	温 泉 旅 館	(株)恵 代表取締役社長 湯河原町宮上361	TEL63-3001 FAX63-3324	宮上365-35 TEL63-3760 090-8875-0880
22	小 倉 高 代	パソコン教室	パソコンくらぶ おぐぼそ 代表 湯河原町中央2-3-10二見ビル1F	TEL44-4262 FAX045-330-6331	中央2-2-2 TEL43-6176 090-5110-6654
23	伊 場 野 雅 代	予防医療診断士	(株)S T S C 取締役 湯河原町鍛冶屋831-16	TEL20-3131 FAX20-3181	同 左 TEL20-3788 090-4918-4590
24	佐 藤 友 彦	ビルメンテナンス	(株)ヒカルクリーンサービス 湯河原町土肥3-5-4	TEL62-8782 FAX62-8783	090-4073-2937

創立50周年以降55周年までの物故会員

故 稲葉 隆会員 在籍54年、1975-1976年度会長、2016年1月17日 ご逝去

ク ラ ブ の 概 要

1. 名 称 湯河原ロータリークラブ
2. 地 域 限 界 湯河原町 人口24,547人(平成29年4月1日現在)
真鶴町 人口 7,551人(平成29年5月1日現在)
熱海市泉 人口 2,438人(平成29年3月31日現在)
3. 隣 接 ク ラ ブ 小田原R.C. 小田原北R.C. 小田原城北R.C.
小田原中R.C. 足柄R.C. 箱根R.C.
熱海南R.C. 網代多賀R.C.
4. 創 立 昭和37年4月20日(1962)
承 認 昭和37年5月7日(1962)
伝 達 式 昭和38年3月20日(1963)
特 別 代 表 宮坂 寛次郎
スポンサークラブ 小田原R.C.
5. 事 務 所 湯河原町宮上566 (一社)湯河原温泉観光協会内
電話 0465(64)1234 FAX.0465(63)1716
例 会 場 熱海市泉107 ニューウェルシティ湯河原
〒413-0001 熱海市泉107
電話 0465(63)3721 FAX.0465(63)6401
例 会 日 金曜日 12:30p.m.~13:30p.m.
理 事 会 毎月第1例会日 11:30a.m.~12:20p.m.
6. 創 立 当 初 会 員 数 正会員 24名
伝 達 式 当 時 会 員 数 正会員 23名 アディショナル正会員 1名
昨 年 度 会 員 数 24名
昨 年 度 入 会 者 1名
昨 年 度 退 会 者 2名
現 在 会 員 数 23名
7. 友 好 ク ラ ブ 立山ロータリークラブ(富山県)
2004年8月3日締結



8. 会 員 の 年 齢 構 成 2016.7.1現在

30～39歳	0名
40～49歳	1名
50～59歳	7名
60～69歳	7名
70歳以上	8名
計	23名

最	年	長	81歳
最	年	少	46歳

9. 平 均 年 齢 63.9歳

10. 会 費 年¥222,000とし、年4回分割払込(7、10、1、4月)とする。

11. 入 会 金 ¥30,000

会 員 の 推 移

1964～1965年度	98.47%	10位	1986～1987年度	100 %	1位	2003～2004年度	88.59%
1966～1967年度	99.41%	8位	1987～1988年度	100 %	1位	2004～2005年度	91.53%
1968～1969年度	99.82%	3位	1988～1989年度	100 %	1位	2005～2006年度	93.63%
1970～1971年度	99.88%	3位	1989～1990年度	99.77%		2006～2007年度	90.64%
1971～1972年度	99.71%	3位	1990～1991年度	100 %	1位	2007～2008年度	94.91%
1972～1973年度	99.30%	6位	1991～1992年度	100 %	1位	2008～2009年度	96.45% 3位
1973～1974年度	99.87%	3位	1990～1991年度	100 %	1位	2009～2010年度	90.15%
1974～1975年度	99.56%	10位	1991～1992年度	100 %	1位	2010～2011年度	93.69%
1975～1976年度	99.86%	8位	1992～1993年度	100 %	1位	2011～2012年度	94.56% 2位
1976～1977年度	99.65%	1位	1993～1994年度	100 %	1位	2012～2013年度	94.67% 5位
1977～1978年度	100 %	1位	1994～1995年度	100 %	1位	2013～2014年度	92.48% 5位
1978～1979年度	100 %	1位	1995～1996年度	100 %	1位	2014～2015年度	87.89%
1979～1980年度	100 %	1位	1996～1997年度	99.57%		2015～2016年度	90.90%
1980～1981年度	100 %	1位	1997～1998年度	99.57%			
1981～1982年度	100 %	1位	1998～1999年度	99.34%	3位		
1982～1983年度	100 %	1位	1999～2000年度	97.64%	4位		
1983～1984年度	100 %	1位	2000～2001年度	97.23%			
1984～1985年度	100 %	1位	2001～2002年度	95.25%			
1985～1986年度	100 %	1位	2002～2003年度	93.63%			



編 集 後 記

5年ぶりの周年記念事業という事で何かと戸惑いもありましたが50周年記念の時の経験を参考にようやく発行にこぎつける事が出来ました。

5年の間にチャーターメンバーに近い稲葉隆会員がご逝去され、だんだん以前のクラブの厳格さが薄れてきているようですが、新会員が多くなり雰囲気も変わり楽しく例会を進める事が出来ていると思います。

55周年記念事業としては、湯河原町町村合併60周年に合わせて昨年2月6日に幕山公園に豊臣秀吉が晩年醍醐寺で花見をした時に愛でた桜で住友林業がクローン技術で再生させた醍醐の桜2本の植樹をしたので花の咲くのを楽しみに多くの観光客が見に来られることを期待したいと思います。

丁度昨年から今年にかけて駅前広場の改修工事がおこなわれ、40周年記念事業で設置された電気時計も場所を移動し電波時計として正確で見やすくなりました。

最後になりましたが、当日お祝辞を賜りました方々に厚く御礼を申し上げます。

西 山 敦

◇記念誌編集委員◇

小 倉 高 代

西 山 敦

室 伏 学

伊場野 雅 代

